

平成 27 年度

事業報告書

## 平成27年度 事業実績

### I. 事業実績

#### (公益財団法人として)

平成27年度は公益財団法人移行後6期目であるとともに、世田谷区(これ以降「区」という。)より区立保健センター並びに総合福祉センターの第3期目の指定管理を受託し4年目の年にあたる。また、10月には財団が法人として設立して39年を迎えている。

当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(平成26年度～平成29年度)にもとづき、公益財団法人としての役割を一層発揮し、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取組みの拡充とともに、地域医療機関への後方支援の強化などに取り組んできた。また法人の自立性を高めるため、収益事業の拡充など経営基盤の安定化、経営の効率化に向けた検討も進めてきた。

一方、区民に親しまれ信頼される事業運営をめざし、ホームページに必要な法人情報(役員名簿や財務諸表、例規類集など)を常に更新し整備するなど、公益財団法人としてのディスクロージャー(情報開示)を維持している。また、学会・研究会への発表論文を公開することで不特定多数の利益の増進という公益財団としての基本目的も果たしてきた。

なお、公益法人会計基準に従い収支相償の達成に向け公益目的事業を補完する収益事業の収入確保に努め、公認会計士による毎月の会計指導、中間期の財務状況を的確に把握するための期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを継続、実施した。

今後は、これまでの取り組みに加えて、平成29年度からとなる区立保健センター・区立総合福祉センターの第4期の指定管理の獲得、さらに梅ヶ丘拠点整備における保健・医療・福祉の拠点整備を視野に、平成32年度の開設をめざす新たな区立保健センターの管理運営を当法人が担っていくため、すべての区民の健康な生活と区民福祉の向上に資することを財団の存在意義としてあらためて認識し、拠点機能の強化や健康づくり事業の地域展開の拡充などを進めていくことが必要となる。また将来を見据えた先駆的な施策等に応えられる職員の育成や意識改革も大きな課題である。

そこで今後の財団のあり方について、関係団体等様々な方面からの意見も取り入れ保健センター経営ビジョン(第二次)を策定し、その他の基本計画とともに財団の設立目的の達成に向け、それらが指し示す方向に向けて経営改革を進めているところである。

#### (財団運営の状況)

安定した法人の運営に向けては、財務状況の改善が必須である。このため財務改善計画に示された支出抑制や効率的な事業運営に努め、また利用者の声を運営に反映させるため

のアンケートを継続的に実施し、利用者増、収入増に向けた事業の改善に取り組んできた。

また職員の世代交代に対応するため人事・組織計画を策定し、契約職員の正規登用制度や定年退職後の継続雇用など、マンパワーの維持・向上に向けた整備・運用を行った。

広報活動としては、区内全域の新聞折込みによる健康情報紙「げんき人」の発行をはじめ、「保健センターまつり」における実施事業の案内紹介、健康情報の提供、がん検診の過去の受診者に対する勧奨通知などを行った。さらに、事業紹介パネルの各総合支所への掲示など、事業PRにも力を注いだ。

事業面においては、がん患者や家族等を支える中核的機能の確立をめざし、「がん相談コーナー」の対面相談に加え、新たに電話相談を開設するとともに、がん検診の「精度管理事業」において実施対象を乳がん・子宮がん検診まで拡充し、世田谷区が実施する5つの対策型検診の全てで精度管理に取り組む機能強化を図った。

総合福祉センターでは、2年目となる「指定特定・障害児相談支援事業所の運営」において、施設の人材を最大限活用して実績の拡大に取り組んだ。また、地域や各種団体との交流を目的に開催した「さくらまつり」では、従来の障害者団体の出店やアトラクションに加え、地元の北沢法人会や近隣障害者施設などと連携してスタンプラリーを同時実施し、参加者の増加につなげることができた。

さらに、施設面では消防点検における設備の指摘事項など、適切な補修を行うとともに、利用者の安心・安全につながる改修を進めた。花と緑に溢れた保健センターをめざし、前年に引き続き花壇整備は地域区民ボランティアの協力により、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。さらに、環境への配慮として、環境配慮行動が進むよう総合的なECO推進に向け取り組んだ。

## 1 公益目的事業

### 公益1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

#### (1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第4条第1号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

#### (2) がん検診事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 保健センター及び検診車における胃がん検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受

診を勧奨した。

[表1]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診	回数	620回	647回	104.4%	620回	638回	640回
	受診者数	15,000人	13,274人	88.5%	15,000人	12,955人	14,527人
	がん発見数	—	23人	—	—	22人 (17人)	23人 (18人)
精度管理(精密)		2,800人	1,188人	42.4%	—	1,802人	—

※ 申込数 14,801 人(受診率 89.7%)、要精検数 1,950 人(要精検率 14.7%)

※ がん発見数は平成28年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 精度管理(精密)の実績は、27年度中に記録処理を行った数である。

## ② 保健センターでの乳がん検診

40歳以上の区民(女性)を対象に行われている乳がん検診において、受託機関として視触診、マンモグラフィ撮影(乳房X線撮影)及び読影を実施した。実績は女性がん無料検診事業にもとづく乳がん検診(無料クーポン券利用)との合算である。

27年度の実績においてマンモグラフィが大幅に伸びているが、26年度末に地域医療機関で視触診を実施した受診者のマンモグラフィ受入れを、27年度当初まで対応したことによるものである。

[表2]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数	150回	169回	112.7%	150回	152回	161回
	マンモグラフィ	300人	454人	151.3%	300人	387人	879人
	視触診・マンモグラフィ	800人	958人	119.8%	800人	962人	—
精度管理(精密)		80人	58人	72.5%	—	—	—

※ 無料クーポン券利用者 284人を含む。

※ マンモグラフィ申込数 465 人(受診率 97.6%)、要精検数 44 人(要精検率 9.7%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 977 人(受診率 98.1%)、要精検数 108 人(要精検率 11.3%)

※ 精度管理(精密)の実績は、27年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

#### ① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、トータルな健康づくりを目指し、運動・栄養・休養指導を充実させた専門性の高い教室と体験から実践までのニーズに応じた多様な教室・講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室を開催した。

[表3]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
健康度測定	回数	—	85回	—	—	87回	85回		
	人数	1,680人	1,763人	104.9%	1,680人	1,831人	1,757人		
	再測定 人数(再掲)	—	41人	—	—	74人	84人		
運動負荷測定	回数	—	45回	—	—	45回	48回		
	人数	150人	163人	108.7%	150人	158人	166人		
健康増進指導	回数	—	424回	—	—	420回	399回		
	人数	10,600人	11,887人	112.1%	10,600人	11,866人	12,251人		
	壮年期 健康づくり教室 回数(再掲)	48回	48回	100.0%	48回	50回	49回		

※ 健康度測定受診総数 1,763 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理)1,401 人、栄養指導(食生活改善)1,407 人、運動指導(活動・運動方法)1,497 人を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 163 人のうち、運動処方参加者 33 人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 174回(参加数 4,173人)
- ・心とからだの癒しと元気 20回(参加数 474人)
- ・食での健康 16回(参加数 289人)
- ・からだの元気 166回(参加数 5,721人)
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 48回(参加数 1,230人)

#### ② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

##### (ア) 実地指導・健康づくり支援

実地指導では、各総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催される健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康

づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、世田谷区生活習慣病対策検討会や世田谷区地域の食環境づくり推進部会へ運動指導員・栄養士等の専門職員を派遣した。また、長期継続自主団体を支援するため地域交流会を開催するなど、区民主体の健康づくり活動を支援した。

[表4]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数	1,100回	1,079回	98.1%	1,100回	1,112回	1,115回
	指導人数	—	17,704人	—	—	17,848人	17,661人
健康づくり支援	回数	100回	124回	124.0%	100回	101回	105回

(イ) 地域健康出前講座・壮年期対象地域講座・職場のげんき力アップ

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防の意識を高める講座を開催した。また、壮年期対象地域講座では、壮年期世代が集まる児童館や公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携し、59歳以下の方を対象に講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」では、事業所単位で取り組む健康づくりメニューを提示し、6ヶ月間にわたって保健師や栄養士などの専門職員がフォローする事業として、平成26年度より開始した。27年度はフォロー終了時の1社のみで、新たにプログラムをスタートさせた事業所はなかった。区とともに世田谷工業振興協会等の団体やオーナー向け講演会などでの周知を行ったが、事業所担当者への事業認知度を高められていないのが現状である。

[表5]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域健康出前講座	回数	30回	26回	86.7%	30回	29回	16回
	人数	—	685人	—	—	835人	620人
壮年期対象地域講座	回数	8回	8回	100.0%	8回	8回	8回
	人数	—	79人	—	—	167人	114人
職場のげんき力アップ	件数	3社	0.5社	16.7%	3社	1.5社	—

### ③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、「せたがや元気体操リーダー」を派遣し健康づくり活動を支援した。「せたがや元気体操リーダー」は、区民ボランティアリーダーとして、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

27年度は、第7期養成講座を開催し6日間講座および見学実習・指導実習等を経て10名の認定リーダーが誕生した。また、登録リーダー64名に対して、指導技術の維持向上を図るため、研修会・交流会および指導実習を実施した。

[表6]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
リーダー養成	人数	10人	10人	100.0%	隔年実施	—	12人		
上級リーダー養成	人数	隔年実施	—	—	10人	11人	—		
研修会(講座)	回数	10回	10回	100.0%	10回	10回	10回		
研修会(指導実習)	人数	30人	30人	100.0%	30人	29人	30人		
リーダー交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	6回		
リーダー実地指導	回数	320回	316回	98.8%	320回	316回	317回		

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

### ④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、重度化予防のための事業として地域出張健康測定・個別相談会・実践セミナーのほか、地区医師会と連携した重症化予防対策(試行)を展開した。27年度は協力医療機関の数を拡充させたが事業内容の周知が十分とはいえず、重度化予防の実践セミナーと同時開催している集団指導では協力医療機関から紹介された参加者はいなかった。また、派遣型集団指導「まちかどゼミ」では新たな試みとして、国保年金課・全国健康保険協会東京支部(協会けんぽ)と連携し該当する区民に勧奨した結果、5人の参加があった。なお個別指導「パーソナルサポート」の実績は2人に止まった。

[表 7]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域出張 健康測定・ 個別相談会	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		—	73人	—	—	86人	81人
重度化予防の 実践セミナー	回数		3回	3回	100.0%	4回	4回	8回
	人数		—	50人	—	—	73人	89人
重症化予 防対策 (試行)	集団指導	回数	3回	3回	100.0%	4回	5回	—
		人数	—	0人	—	—	54人	—
	派遣型 集団指導	回数	5回	5回	100.0%	—	—	—
		人数	—	5人	—	—	—	—
	個別指導	人数	20人	2人	10.0%	10人	0人	—

#### (4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。

保健センター主催の講演会では、漢方キッチン主宰の薬膳料理家を招聘し「薬膳料理で食養生」を開催した。また、心の健康づくり講習会では、例年実施している「座禅」のほか、能楽師狂言方(大藏流)より講師を招き、「狂言と笑い」の講習会を開催した。



[表 8]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための健康教室	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	4回	
	人数	—	787人	—	—	1,045人	991人	
区民のための糖尿病教室	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
	人数	—	18人	—	—	14人	12人	
歯っぴいフェスタ	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
	人数	—	813人	—	—	736人	897人	
くすりと健康のつどい	回数	2回	2回	100.0%	1回	1回	1回	
	人数	—	447人	—	—	245人	355人	
薬の講演会	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
	人数	—	75人	—	—	27人	34人	
心の健康づくり講習会	回数	2回	2回	100.0%	2回	2回	2回	
	人数	—	99人	—	—	91人	116人	
講演会・講習会	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	2回	
	人数	—	64人	—	—	70人	174人	

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報誌「げんき人」の発行、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙(誌)「げんき人」はタブロイド判を3回発行し、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、冊子形式を1回発行し、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。

また、『笑顔、ときめき、元気の魔法!』をテーマとしたイベント「保健センターまつり2015」を10月4日(日)に開催、健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、系の枠を超えた実行委員会形式で企画・運営を行った。壮年期世代を含む比較的若い区民へのアプローチとして、近隣小学校を通じての周知を行い、家族向け体験企画や子ども向け体験ミッションを企画した。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰なども同時に実施した。

[表 9]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙(誌) 「げんき人」の 発行	タブロイド判	3回	3回	100.0%	3回	3回	3回	
	A4カラー判	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
発行年月日	内 容						規 格 発行部数	
27. 6. 1 (第82号)	日本人の2人に1人が「がん」になる時代です！ 胃がん・大腸がん検診 ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
27. 10. 1 (第83号)	笑顔、ときめき、元気の魔法！ 第6回 保健センターまつり2015 ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
28. 2. 1 (第84号)	毎日骨々、できることからはじめよう！ ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
28. 3. 1 (第85号)	保健センターまるごとガイド 平成28年度健康づくり教室・講座・コースのご案内 ほか						A4判 6ページ 20,000部	

[表 10]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり 2015	回 数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
	人 数	—	2,044人	—	—	1,569人	1,708人	

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・第6回記念講演「健診を大解剖」	50人	・ダンスフェスティバル	250人
・長期グループ表彰式	25人	・世田谷100歳体操等	120人
・ソングリーディング企画	280人	・健康づくり紹介コーナー	100人
・エクササイズマラソン	263人	・健康チェックコーナー	423人
・健康クイズ・パネル展示等	350人	・ファミリーウォークラリー	68人
・1日科学者体験ミッション	19人	・薬の相談コーナー	34人
・アロマハンドマッサージ	62人		

③ 健康教育指導と団体支援

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、8種類の運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを通年で開催した。

また団体支援として、介護予防事業（機能向上プログラム、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣したほか、まちづくりセンター等で土・日に開催する講演会の講師派遣やその他の団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 11]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	396回	99.0%	400回	400回	432回
	人数		—	18,243人	—	—	18,107人	18,479人
マシン トレーニング	回数		—	1,211回	—	—	1,216回	1,261回
	人数		12,500人	13,576人	108.6%	12,500人	12,768人	11,983人

※ 運動コースでは「ゆったり気功体操」「チャレンジ太極拳」「エンジョイフラダンス」「わくわく体操」「さわやかヨガ」「すこやか体操」「ステップエアロ」「ファイティングエアロ」の8コースを実施。

[表 12]

事業項目			年度	27年度			26年度		25年度
				計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	機能向上 プログラム	回数	2教室	2教室	100.0%	2教室	2教室	1教室	
		人数	—	255人	—	—	201人	133人	
	地域づくりによる 介護予防	団体数	—	3団体	—	—	—	—	
	普及啓発講座 ほか	派遣人員	130人	172人	132.3%	130人	179人	189人	
		参加人員	—	2,514人	—	—	2,437人	2,603人	

④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学講師等と内容を協議した講習会の開催、病院の地域医療連携室等との事業関連の研修企画など、幅広い連携を図った。

また、保健センターまつりにおいて、長期継続グループの表彰を行った。

[表 13]

事業項目	年度	27年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校／成人看護実習受入	27年 5月～12月
		国立病院機構東京医療センター地域医療連携室／職員研修 「がん治療の現状と患者・家族との対応を事例に学ぶ」	27年 8月 3日
		昭和女子大学 実習受入	27年 9月～10月
		武蔵野大学／ヘルスプロモーション実習受入	27年 9月～10月
		日本女子体育大学／実習受入	27年 9月～12月
		帝京平成大学健康メディカル学部／イベント参加	27年 10月 4日
		世田谷区生涯大学／移動教室実施	27年 11月 12日
		駒澤大学仏教学部禅学科／座禅講座講師派遣	27年 11月 21日
		国立がん研究センターがん対策情報センター／職員研修 「地域統括相談支援センター類似組織の現状、相談支援体制の現状と課題」	27年 12月 14日
		区立中里小学校／がん教育授業への協力	28年 2月 25日
地域健康づくり グループとの交流		長期継続グループの表彰	27年 10月 04日

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。26年度にせたがやコールセンターの勧奨を開始し、一時的に申込みが増えたが、27年度についてはその効果は見られなかった。

[表 14]

事業項目	年度	27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	75人	28人	37.3%	75人	33人	28人
動機づけ支援	実人数	225人	108人	48.0%	225人	147人	106人

⑥ 各種相談に対応する取組み

主に在宅療養中のがん患者のための相談窓口を土曜日に月2回開設し、本人または家族の各種相談に対応した。27年度より、対面相談のほか、新たに電話相談を開設した。

電話相談では、木曜日の第1・3週に看護師による専門相談と第2・4週にがん体験者によるピア相談を実施した。

[表 15]

事業項目			年度		27年度			26年度	
			計画	実績	達成率	計画	実績		
がん相談 コーナー	対面相談	回数	24回	24回	100.0%	12回	12回		
		人数	—	21人	—	—	21人		
	電話相談	回数	48回	47回	97.9%	—	—		
		人数	—	16人	—	—	—		

⑦ 新しい地域の拠点づくり

池尻2丁目に開設した区立健康増進・交流施設の指定管理者である共同事業体の構成員として、運動室「フットパル池尻」のスタッフ研修やプログラムの監修等を担当した。財団の持つ高い専門性や指導ノウハウを活用しながら、健康づくりを実践する新しい地域拠点として定着するよう分担業務に努めた。

[運動室スタッフの研修]

総合的な指導ができる運動室スタッフの育成に向け、研修計画等のサポートを行った。

[運動室のプログラムの監修]

年間を通して幅広い層の区民が楽しくかつ安全に運動ができるよう、各種プログラムのアドバイスなど総合的な監修を行った。

[健康相談室の運営]

健康増進にかかわる専門職を派遣し、食生活など健康に関する相談を実施した。

栄養相談会 参加 26人

[健康講座の企画運営]

財団のこれまで各種の健康講演会・講習会の開催経験を活かし、健康づくりの公開講座を企画し開催した。

健康公開講座 2回 参加 40人

## 公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業 (総合福祉センター事業)

### (1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

### (2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)

世田谷区の委託により基幹相談支援センターを設置し、年齢・障害の種別に関わりなく、障害者（児）および家族等への相談支援を実施したが、各地域の障害者相談支援センターへの相談が増えていることなどもあり、当該センターの相談件数は減少の傾向が窺われる。

また、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、世田谷区自立支援協議会の事務局を担うとともに、地域相談支援センター連絡会や相談支援事業者連絡会を通し、区内の相談支援体制の連携強化に取り組んだ。運営会議については、運営の効率化により開催回数を減らした。

さらに、テーマ別の障害者ケアマネジメント研修と相談支援専門員を養成するための相談支援従事者初任者研修を引き続き実施し、地域の相談支援に従事する人材の育成を行った。研修については、区の進める地域包括ケアの展開を踏まえ、研修対象者に高齢福祉部門の職員を加えたため、参加者が大幅に増加した。

指定特定・障害児相談支援事業所については、総合福祉センターにおける障害者総合支援法による自立訓練事業や児童福祉法による児童発達支援事業の利用者を中心に、サービス等利用計画の作成とモニタリングについても実施した。27年度は必要な人員の確保に努め、実績数を大きく伸ばすことはできたが、計画数には及ばなかった。

#### ① 相談支援

[表 16]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
相談件数	実人数	200人	126人	63.0%	220人	154人	210人		
	延人数	220人	163人	74.1%	260人	198人	242人		

② 自立支援協議会の開催

[表 17]

事業項目	年度	27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立支援協議会		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
同 運営会議		11回	9回	81.8%	11回	13回	10回

③ 人材育成

[表 18]

事業項目	年度	27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
研修実施		200人	349人	174.5%	230人	230人	204人

④ 指定特定・障害児相談支援事業所の運営

[表 19]

事業項目	年度	27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
サービス等利用計画作成		840件	743件	88.5%	840件	277件	—

### (3) 機能訓練事業（定款第4条第2号事業）

#### ① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者総合支援法に位置づけられない指導・訓練のほか、障害者総合支援法に基づく自立訓練の契約開始までの指導・訓練や契約終了後のフォローを行った。平成27年度は、相談支援事業の浸透により利用者への指導の機会が増加したため、個別の延人数が増加した。また、グループの延人数については、法内の自立訓練へのスムーズな移行に取り組んだ成果があらわれたことにより減少となっている。

[表 20]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
成人機能訓練								
個別	実人数		500人	375人	75.0%	500人	358人	264人
	延人数		1,600人	1,706人	106.6%	1,600人	1,398人	1,260人
グループ								
グループ	実人数		40人	30人	75.0%	40人	36人	48人
	延人数		500人	199人	39.8%	500人	211人	364人

#### ② 障害者総合支援法 自立訓練

自立促進、生活の質の向上等を図るため、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。平成27年度は、継続してニーズのある高次脳機能障害者への生活訓練と身体機能の訓練を併せて実施するケースが増加したことと、視覚障害者への訓練が増加したことにより、個別の延人数が増加した。

[表 21]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練								
個別	実人数		70人	73人	104.3%	70人	63人	65人
	延人数		2,000人	3,132人	156.6%	2,000人	2,829人	1,903人
グループ								
グループ	実人数		50人	61人	122.0%	50人	48人	42人
	延人数		1,800人	2,334人	129.7%	1,800人	2,362人	1,971人



③ 児童機能訓練

発達の遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育むため、相談・評価・訓練等を実施した。平成27年度は観察評価の結果により、児童発達支援事業に短期間で移行する児童が多かったため、児童機能訓練の実人数は減少している。

[表 22]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価		2,350 件	2,444 件	104.0%	2,350 件	2,446 件	2,355 件
児童機能訓練	実人数	400 人	348 人	87.0%	450 人	361 人	426 人
(継続相談)	延人数	900 人	995 人	110.6%	1,220 人	967 人	1,195 人

④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達の遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育むための療育として、児童福祉法による児童発達支援事業を実施した。平成27年度は、区内の乳幼児人口の増加に伴う相談件数の増を反映し、昨年同様に利用者数は増加傾向であった。特に集団適応を目的とするグループ指導の対象となる児童が大幅に増加した。

[表 23]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童発達支援事業							
個別	実人数	550 人	635 人	115.5%	590 人	742 人	620 人
	延人数	6,750 人	6,548 人	97.0%	6,910 人	7,927 人	6,150 人
グループ	実人数	140 人	199 人	142.1%	100 人	94 人	166 人
	延人数	2,400 人	3,087 人	128.6%	1,900 人	1,027 人	3,566 人

#### (4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるように各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助や施設職員等を対象とした研修を行うなどの地域支援を実施した。

[表 24]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
交 流	講習会等参加	2,800 人	2,474 人	88.4%	2,800 人	2,120 人	2,599 人		
技 術 支 援	回 数	580 回	572 回	98.6%	575 回	555 回	569 回		
研 修	人 数	1,000 人	758 人	75.8%	1,000 人	744 人	908 人		

## 2 収益事業

### 収益1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

#### (1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 25]

事業項目		年度	27年度			26年度		25年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,750件	1,493件	85.3%	1,800件	1,533件	1,529件	
病理組織検査	件数	620件	476件	76.8%	650件	479件	475件	
大腸								
内視鏡検査	件数	350件	329件	94.0%	350件	332件	374件	
病理組織検査	件数	150件	105件	70.0%	120件	140件	150件	
乳房								
一般撮影	件数	450件	180件	40.0%	450件	153件	179件	
スポット撮影	件数	50件	25件	50.0%	50件	24件	19件	
超音波検査	件数	500件	196件	39.2%	500件	168件	201件	
細胞診検査	件数	50件	10件	20.0%	50件	12件	17件	
子宮								
内視鏡検査	件数	120件	148件	123.3%	100件	157件	139件	
病理組織検査	件数	120件	146件	121.7%	100件	158件	140件	
細胞診検査	件数	120件	150件	125.0%	100件	158件	140件	
MRI検査	件数	2,300件	1,927件	83.8%	2,300件	1,942件	1,974件	
CT検査	件数	2,300件	1,916件	83.3%	2,300件	1,863件	1,769件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	250件	252件	100.8%	250件	214件	198件	
心臓								
ホルター心電図	件数	50件	28件	56.0%	50件	30件	30件	
超音波検査	件数	180件	144件	80.0%	180件	160件	163件	

## (2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。子宮がん検診の実績は、無料クーポンによる受診勧奨の縮小により受診者が減少した。また、大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診との同時受診が可能となった26年度から受診者が減少している。

### ① 子宮

[表 26]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数	24,000 件	25,301 件	105.4%	24,000 件	34,804 件	24,353 件
	体部件数	2,300 件	2,266 件	98.5%	2,300 件	2,275 件	1,907 件
	がん発見数	—	6 人	—	—	29 人 (15 人)	24 人 (12 人)

※ がん発見数は平成28年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 無料クーポン券利用者 4,106 人を含む。

※ 頸部件数には不適正標本 29 件を含み、このほか再提出として 25 件の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 25,301 人、要精検数 680 人(要精検率 2.7%)

体部 検査件数 2,266 人、要精検数 49 人(要精検率 2.2%)

### ② 大腸

[表 27]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数	12,000 件	12,706 件	105.9%	16,000 件	12,698 件	15,239 件
	がん発見数	—	15 人	—	—	30 人 (24 人)	37 人 (27 人)
精度管理(精密)		1,100 件	537 件	48.8%	—	711 件	—

※ がん発見数は平成28年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 検査件数 12,706 人、要精検数 1,060 人(要精検率 8.3%)

※ 精度管理(精密)の実績は、27年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。地区医師会で実施したがん検診の精度管理業務を段階的に拡充していく区の計画にもとづき、27年度は新たに子宮がん・乳がん検診について精度管理を受託し、5つの対策型がん検診すべての集計業務を開始した。

[表 28]

事業項目		27年度			26年度		25年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数	100人	112人	112.0%	100人	86人	89人
小中学生 結核検診精密検査	人数	200人	290人	145.0%	200人	274人	—
企業健診	人数	2,000人	1,948人	97.4%	2,000人	2,029人	2,119人
個人健診	人数	400人	374人	93.5%	400人	405人	461人
脳ドック	人数	200人	198人	99.0%	192人	192人	189人
動脈硬化検査 (個人)	個人	450人	474人	105.3%	450人	600人	972人
体成分分析測定	人数	50人	159人	318.0%	50人	187人	138人
骨密度測定	人数	50人	244人	488.0%	50人	249人	287人
医師会実施 大腸がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	43,000件	32,371件	75.3%	40,000件	24,101件	27,670件
	精密検査 集計件数	—	1,382件	—	—	848件	937件
医師会実施 胃がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	200件	212件	106.0%	200件	103件	—
	精密検査 集計件数	—	14件	—	—	8件	—
医師会実施 肺がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	45,000件	26,065件	57.9%	—	19,925件	—
	精密検査 集計件数	—	455件	—	1,000件	322件	—
医師会実施 子宮がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	22,500件	5,402件	24.0%	—	—	—
	精密検査 集計件数	—	58件	—	—	—	—
医師会実施 乳がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	15,200件	5,400件	35.5%	—	—	—
	精密検査 集計件数	—	247件	—	—	—	—

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、27年度中に記録処理を行った数である。  
(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

自宅において安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し、相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。平成 27 年度は、派遣依頼が減少したことなどから実績は減少した。

[表 29]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数			300回	202回	67.3%	300回	274回	240回

**(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

障害のある高齢者がいる施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。平成 27 年度は、派遣先の事情により、派遣回数が減少した。

[表 30]

事業項目		年度		27年度			26年度		25年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数			70回	48回	68.6%	70回	71回	188回